

第1回 「暮らしを守る砂防施設の役割」

2010. 7. 14 参加者 33名

第14期砂防公開講座が始まりました。開講式及び室内講義は片品村役場会議室で行い、野外学習は、片品上流砂防堰堤他2箇所を見学しました。

受講生の皆さんに砂防・防災について知ってもらうため、砂防事業の取組みや土砂災害の危険性、防災対策についての講義を行いました。

《室内プログラム》

- ・開講
- ・主催者等挨拶
- ・事務局自己紹介
- ・講義
後藤宏二事務所長
- ・質疑応答



後藤事務所長による主催者挨拶



千明片品村長による挨拶

《野外プログラム》

- ・野外学習説明
- ・片品上流砂防堰堤 見学
- ・越本床固工 見学
(車窓から)
- ・平川第一砂防堰堤 見学

砂防事業について

～土砂災害による被害を軽減するために～
利根川水系砂防事務所 後藤宏二所長



土砂災害などが起こりやすい日本の特徴や、砂防事業の現状を、映像や写真を使って話して頂きました。

～野外学習～

片品上流砂防堰堤他2箇所見学
講師：丸山文二 片品出張所長



砂防堰堤の特徴や、砂防施設の役割を写真等を使って話して頂きました。



<アンケート結果>

- ・群馬にも災害を防止する為に、国や県などが常に防止策を行っている事がわかりました。
- ・初めて参加したのですが、改めて私達の暮らしを守る為、砂防施設の果たす役割の重要性を痛感しました。
- ・自然災害、自然の力の怖さを充分知らされた。
- ・野外学習では、すばらしい事業を実際に見せて頂いて、皆様の努力のあとが強く伺えました。
- ・普段の備えの大切さを知った。意識・認識・知識をフル活用して今後の糧としたい。